

航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：酒井 雄介 〒144-0041 東京都大田区羽田空港1-6-5 第5綜合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163

第24回 定期大会を開催！

航空連合は、10月3日、東京・大田区産業プラザPiOにおいて、感染対策を徹底したうえで約250名の代議員、執行部の出席のもと、第24回定期大会を開催しました。

本大会は、2年ぶりに集合形式で開催することができた。航空関連産業は物流に加えて人と人の出会い、繋がりをお手伝いする産業である。こうして私たち自身が集合できたことは、コロナウイルスとの長い闘いの出口を自ら実感する象徴的な大変意義深いことである。

コロナで苦しむ中、私たちがどうありたいかを議論し、昨年策定した航空連合ビジョン「いつの時代も社会から必要とされ、働く仲間がやりがいを感じ、誇りをもって働ける産業」を改めて今の職場状況

と照らし合わせた時、どのようなギャップ、課題があるのか。長かったトンネルの出口が見え始めてきたものの、蓄積されたダメージは大きく、ビジョンでめざす姿はまだ遠くに見えているかもしれない。しかし、私たちがここまで来ることができたのは、働く仲間の懸命の努力があったからに他ならない。そのことを全体で認識したうえで、危機を乗り越えて終わりではなく、ビジョンの実現、その先の産業の発展をめざし、変革に挑戦していく必要がある。

私たちは、苦境に耐えてきたことで成長を遂げており、このことは産業の強みであり財産である。経験をしたことがない危機に陥ったからこそ、成長に向けた「変革」のチャンスを手に入れることができたと考える。だからこそ、今、お互いを尊重しあい、経営に対して自信をもって「人への投資」を求め、懸命に奮闘し産業で働いている人材を大切にしなければいけない。一方で、「変化する局面」においては、変化のスピードに差が生まれることにも注意が必要である。需要回復と人員体制のギャップ、労働組合と経営とのギャップ、また労働組合の中においても執行部と組合員とのギャップ。そうしたギャップに注意をし、職場に寄り添いながらも正しい情報を迅速、的確に共有しながら運動を前進させる必要がある。

第24期は、昨年策定した第23期－第24期の2ヵ年運動方針の後半年を迎える。2ヵ年方針は、コロナの収束が見えるまでは「守り」を重視し、「攻め」に向けた準備も構えていた。そして、収束が見えてきたタイミングで「攻め」に転じ、航空連合ビジョンの実現にむけて運動を加速させていく。その「守り」から「攻め」へ移行するためには、産業全体で「変革」に挑戦していく必要がある。

私たちの産業が「社会から必要とされ」続けるためには、安全の堅持を基盤に、社会からの要請に的確に対応していく必要がある。「働く仲間がやりがいを感じ、誇りをもって働く」ためには、苦境に耐えて強くなった人材が、いかに力発揮できるよう、自らの意思で様々な変革に挑戦していくとともに、働く仲間・人材を大切にするという具体的な行動で示していく必要がある。働きに見合った生活水準への回復を早期に達成し、継続的な「人への投資」という極めて重要な「中期労働政策方針」の実現に向けて取り組むことが重要である。そのためには、私たち航空関連産業の持続性を高め、国際競争の中で勝ち抜く力をつけるため、「圧倒的な生産性向上」の実現を軸とした、中期的な視点での産業政策の実現にも取り組む必要がある。そして、この難局を乗り越え、確実に成長軌道をつかむためには、これまで以上に仲間同士の力を合わせていく必要がある。今こそ、航空連合というチームの一体感を一層高め、一丸となって運動を推進し、航空連合ビジョンの実現をめざしていきたい。これまでの私たちの努力に自信と誇りを持ち、明るい希望にあふれる将来を自分たちの手で必ずつかみ取るべく、ともに歩みを進めていきたい。

- 第一号議案
新規加盟組合の報告・確認
- 第二号議案
第23期活動報告及び第23期－第24期運動方針ローリング(案)
- 第三号議案
第23期決算報告・剰余金処分(案)、第24期予算(案)
- 第四号議案
中期労働政策方針(2022-2025)
- 第五号議案
2022-2023 産業政策提言(案)
- 第六号議案
第24期役員の補充

大会に付議された
議案は全て決
承認されました。

内藤会長

挨拶
(要旨)

01 ご来賓挨拶 ご来賓の方々より大会のお祝いと、航空連合へのあたたかい激励のご挨拶をいただきました。連合
芳野友子 会長立憲民主党
枝野幸男 衆議院議員
(航空連合政策議員フォーラム会長)国民民主党
玉木雄一郎 代表
(航空連合政策議員フォーラム副会長)国土交通省航空局
新垣慶太 次長定期航空協会
大塚洋 理事長**02 新規加盟組合の報告・確認**

1組合の新規加盟が満場一致で確認されました。
第24期は正加盟57組合45,310名でスタートします。

新規加盟組合

組織名	ソラシドエア労働組合(ソラシドエア労組)	
委員長	横山 朋典(よこやま ともり)	組合員数 124名
会社概要	航空運送事業	
加盟日	2022年8月24日(第23期第11回中央執行委員会承認)	



記念に航空連合旗の
授与がおこなわれました

03 第23期－第24期運動方針ローリング(案)

第23期－第24期の2カ年の運動方針について、「産業政策」と「労働政策」の連動による「圧倒的な生産性向上」に取り組み、航空連合ビジョン「いつの時代も社会から必要とされ、働く仲間がやりがいを感じ、誇りをもって働ける産業」の達成に向け、運動を加速していくためのローリングが確認されました。

質疑
(要旨)

代議員 一人ひとりの幸せをめざす、多様な価値観を生かす、職場の環境整備をおこなうなど、仲間の思いを実現すべく日々の活動をしている。退職する仲間が絶えない中で、生活の安心や社会との繋がりを創出する活動を強化していただきたい。航空関連産業に誇りを感じられる人を一人でも多く増やしていきたい。

航空連合 社会との繋がりという点で、23期から始めた環境ボランティア活動を継続していきたい。航空連合ビジョンにもある産業に誇りや魅力をもてる仲間を増やす活動に向け、引き続きの連携をお願いしたい。

代議員 「航空需要の回復期においても現場に過度な負担が生じることがないよう環境整備に取り組む」とあるが、「過度な負担」というフレーズを使った経緯を補足いただきたい。

航空連合 生産量が増加していく中、一人ひとりの労働負担を高めるのではなく、人への投資による人材の確保・育成を図ることで、働く仲間がモチベーション高く働き続けられるようにという意図で記載している。産業政策、労働政策の両面から取り組みを進めていきたい。

代議員 現在、福岡空港では空港車両についてハンドリング会社を跨ぎ共同使用をし、狭隘スポットの有効活用や燃料削減などにつながっている。生産性向上や働きやすさに繋げるためにも、今後も対象ハンドリング会社の拡大や車両の種類の拡充の後押しをお願いしたい。

航空連合 航空連合としても各所への要請を引き続き実施していきたい。職場の声や現状など、引き続き、各種部会や委員会を通じて届けていただきたい。

代議員 航空関連産業における労使での認識を共有するための産業別労使懇談会の実施について、具体的に決定している内容があれば共有いただきたい。

航空連合 23期には実施に至らなかったが、政策実現総行動の取り組みにおいて、関係者には重要性を伝え理解をいただいた。24期での実施に向け、引き続き取り組んでいきたい。

**04 中期労働政策方針(2022-2025)**

航空連合として、中長期的な視点でめざしたい労働条件の目標をまとめた初めての労働政策となる「航空連合中期労働政策方針(2022-2025)」について報告がなされました。

代議員 人材の育成・能力開発について、航空連合の部会での講義などを通じて知見を広げることができた。今後も取り組みを継続していただきたい。

航空連合 今後も、航空連合に加盟していることへの意義を感じていただけるよう活動を進めていきたい。

代議員 コロナ禍で採用がなかった時期においても、航空関連産業に魅力を感じてくださっている方は多いと感じる。人への投資を大切にし、将来産業を担う仲間に向けても、魅力発信の取り組みを継続していただきたい。

航空連合 産業政策とも連携し、産業の魅力向上に向け、航空関連産業に携わって良かったと思える環境・労働条件の構築をめざしていきたい。

**05 2022-2023産業政策提言(案)**

航空関連産業の健全な発展をめざし、働くものの立場から策定した産業政策提言が確認されました。

代議員 職場では人手不足が顕在化をしている。空港イノベーションの推進について、賛同する一方で競争力の阻害につながり、人件費頼りの競争力の強化になってしまう懸念もある。労働条件の改善とイノベーションの推進の両立が重要であると考えている。

航空連合 コスト削減に向け他企業と連携していく動きは、航空関連産業だけではないと認識をしている。競争が困難な領域は共存共栄も必要であり、見極めが大切である。会社が生き残っていくためには何をすべきか、共に考えていきたい。

代議員 需要が大幅に減少をしていた中で、年齢を問わず多くの仲間を失った実感がある。提言に記載されているカスハラへの対応を含めた労働環境の改善は、産業全体の活性化に加え、産業が発展していく上でも重要である。今後も労働者の人権を大切にし、すべての組合員の物心両面での幸福をめざしていただきたい。

航空連合 労働者の人権については、SDGsの考え方をふまえても重要なテーマだと考えている。人権デューデリジェンスと言う考え方も出てきている中、労働組合としては、国の制度の枠組み、それに対する経営の取り組みを注視し活動をしていきたい。

代議員 産業が厳しい状況が続く、人手不足が叫ばれる中、圧倒的な生産性向上は重要ではあるものの、難しい課題であるとする。働く者への負担とならないよう、産業政策提言においてもサポートをいただきたい。

航空連合 航空連合として「圧倒的な生産性向上」に取り組もうとしているが、投入(Input)の最小化だけではなく、産出(Output)の最大化も重要であると考えている。制度や仕組みを変えるなど、働く者の負担が増えることのないよう、個社や単組では解決できない課題に取り組みたい。

代議員 Auto-ELTの試験電波発射時刻の規制緩和について、改めて御礼を伝えたい。職場では、国に対する要望は、とても高いハードルであると捉えがちである。国に対しての働きかけで改善されたことは大きな一歩だと感じており、今後も働く者の立場から発信を続けていきたい。

航空連合 職場の実態を理解した。その上で、皆さんの声をもとにした航空連合政策提言に則って、今後も然るべき相手に要請を実施していきたい。

代議員 機内での盗撮行為について、通常国会での法制化に向けた審議の中で、職場の意見が反映されたことに感謝を申し上げたい。法制化後も現場で正しく運用がなされるよう、航空連合との連携を図ってきたい。

航空連合 機内での盗撮行為については、前進しつつあり、引き続きの連携をお願いしたい。航空連合として、これまでの職場からの声やアンケートで蓄積してきたデータもあるので、それらをもとに発信を続けていく。



熱心に議論する
代議員の皆さん

06 第24期役員の補充

●副会長(2名)

白石 哲也	ANA 労働組合
高橋 修平	ジャムコ労働組合

●中央執行委員(7名)

三輪谷 樹	ユニオン エア・ドウ
宮尾 交	日本トランスオーシャン航空労働組合

川合 保寛	JAL エンジニアリング労働組合
森 将人	ANA ラインメンテナンステクニクス労働組合
清水 堅太	JALUX UNION
内村 安里	ANA エアポートサービス労働組合
山田 友佳里	ジャムコ労働組合

●会計監査(1名)

須之内 辰憲	ANA 労働組合
--------	----------

07 退任される第23期役員の方々

お疲れさまでした

**09 大会宣言の採択****航空連合 第24回定期大会 大会宣言**

航空連合は、1999年の結成以来、航空関連産業で働くすべての仲間の幸せを実現するため、産業の基盤である安全の確保、産業政策の実現、組合員の労働条件の向上や仲間の輪の拡大などに精力的に取り組み、多くの成果をあげてきました。第23期は、長期化している新型コロナウイルス感染症の影響による未曾有の危機の中、産業の存続と雇用の確保に重点を置き、運営の工夫を重ね、精力的に取り組んできました。

新型コロナウイルスの収束の見通しは未だ不透明ですが、水際対策も徐々に緩和され、国際的な人の往来、航空・観光需要は回復しつつあります。職場では、需要増加に伴う業務量の増加や繁忙感、人手不足が懸念されますが、そのような状況においても、お客様に安全運航や安全・安心な商品・サービスを提供すべく、多くの仲間が必死に業務に向かっています。

この3年間、新規採用の停止や労働条件の変更、社外への出向など、働く仲間を取り巻く環境が大きく変わりました。しかしながら、コロナ禍後の光が見え始めた今、改めて「人への投資」によって「活力の好循環」を継続的なものとして確立することで、「圧倒的な生産性向上」を実現し、コロナ禍の危機を乗り越え、さらなる成長をめざしていく必要があります。そして「圧倒的な生産性向上」によって生み出された成果は、生産性運動三原則に基づき、働く人に適正に分配し、労働諸条件を継続的に向上させるなど、航空関連産業で働く魅力を向上させることが、産業の持続性の観点からも重要です。

私たちは航空労働界を代表する産業別労働組合としての責任と自覚を持ち、航空連合に集う57組合、45,310名の仲間との相互信頼を深め、英知を結集して、現状の危機を乗り越えていきます。そして、その先に航空連合のビジョン「いつの時代も社会から必要とされ、働く仲間がやりがいを感じ、誇りをもって働ける産業」を自らの手でつかみとることを宣言します。



2022年10月3日
航空連合第24回 定期大会
中央執行委員 古瀬 由希

航空連合

は、航空関連産業で働く仲間・労働組合が大同団結し、産業の魅力の向上や基盤の強化に向けて1999年10月に結成された、航空労働界を代表する最大の産業別労働組合です。57の企業別組合の45,310人（うち客室乗務員約15,000人）で構成され、ナショナルセンター「連合」に加盟しています。



フォローを
お願いします!

Facebook



Follow me!

Instagram



会長Twitter
始めました!

Twitter



ニュース・航空連合へのご意見は
E-mailでお受けしています。

アドレス avinet00@jfaiu.gr.jp

ホームページ <https://www.jfaiu.gr.jp>

アルコール関連相談窓口をご活用ください。

航空関連産業での飲酒に係る不適切事象の根絶に向けて、定期航空協会が無料の相談窓口を設けております。航空会社に所属する方のみならず、航空連合加盟組織の皆様も利用可能です。相談内容は決して、勤め先企業にも定期航空協会にも伝わりませんので、お気軽にご相談ください。

